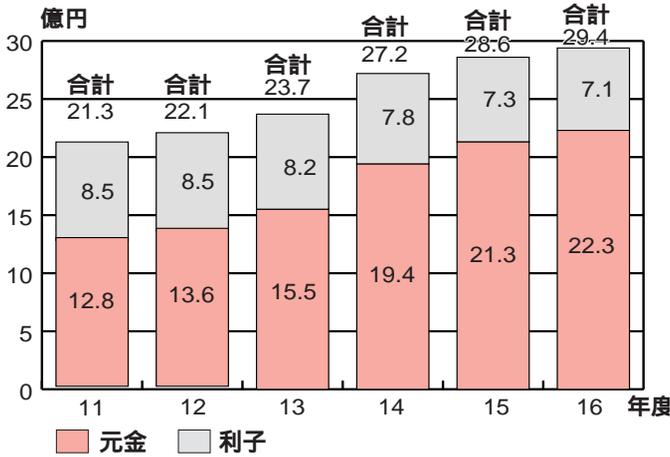
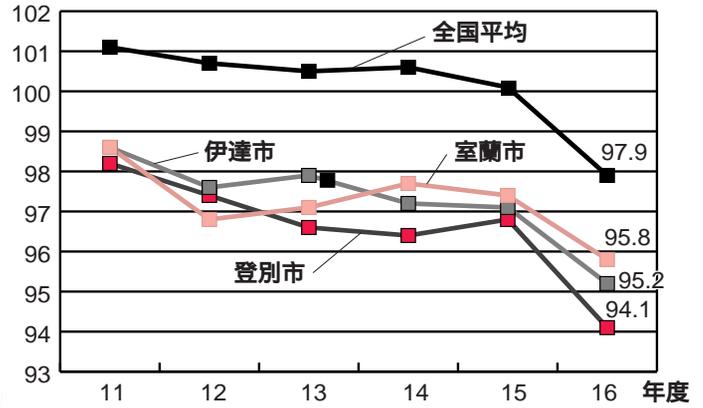


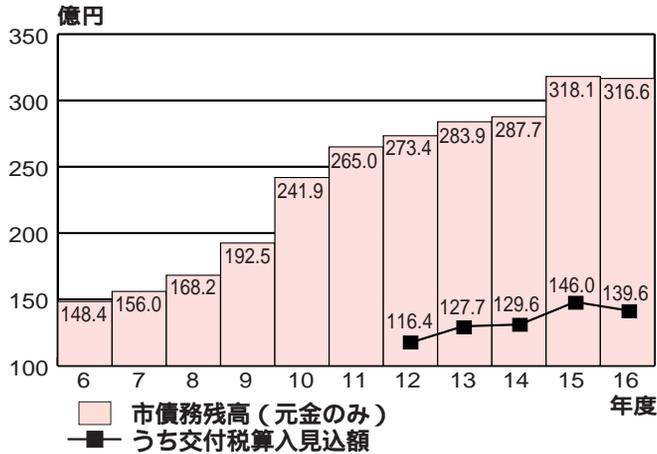
公債費の推移【グラフ3】



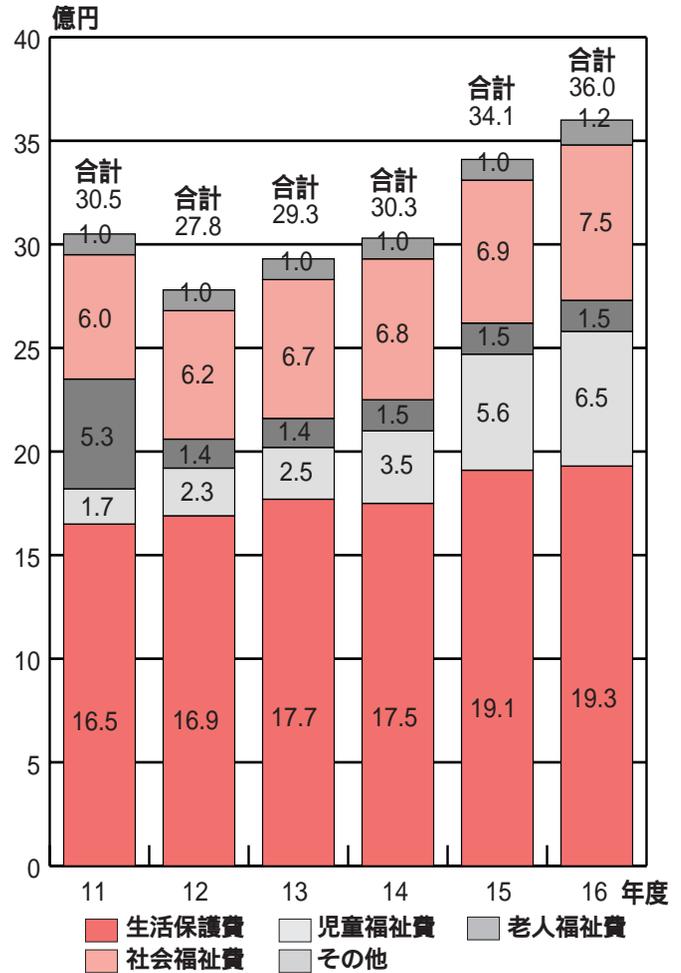
ラスパイレース指数の推移【グラフ1】



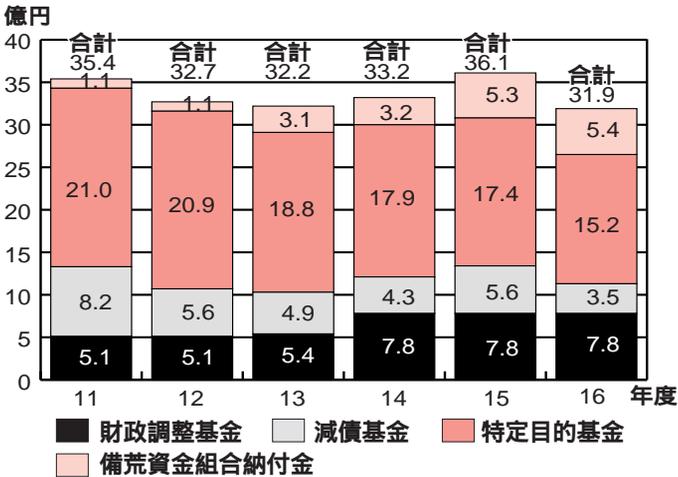
市債残高の推移【グラフ4】



扶助費の推移【グラフ2】



基金残高の推移【グラフ5】



財政用語解説

・臨時財政対策債：地方財政の赤字補てんのため、各地方公共団体の判断で借り入れる地方債。その元利償還金は、後年度普通交付税に算入されて国から市に交付されることになっています。

・人件費：職員の給料や手当、議員や各種委員の報酬などをいいます。

・扶助費：生活保護法や児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法などの法令に基づいて支出する経費です。

・財政調整基金：地方公共団体において、年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てられた基金です。

・減債基金：公債費の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられている基金です。

・特定目的基金：特定の目的のために積み立てられている基金で、おもにやき基金、観光開発基金、新図書館建設基金、退職手当積立金などがあります。

・備荒資金組納付金：市町村で構成される組合で、各市町村は、災害など緊急の財政支出に備えるために、一定額を積み立てています。災害時に備えるため納付する普通納付金と用途が自由な超過納付金があります。